

(一) 汎太平洋會議を一九二七年七月の第二週間に延期すること

(二) 費用は白紙たること

(三) 参加申込締切りは一九二七年三月一日とする

最近の支那の政情は依然として混沌を極むる情勢に鑑み、國際部は既に東洋労働者會議を印度に於て開催するの件に就て調査し、本年六月印度代表シヨウシ氏は、印度の労働事情調査を目的とする日本代表を派遣するに於て之を援助するやの紹介をなした。之に對して東洋労働者會議を印度に於て開催する旨を派遣する場合は八月十一日附にシヨウシ氏より來信あり。同氏は支那に於ける東洋労働者會議開催不可能と決定すれば、印度に於て開催したい旨及び印度労働事情調査並に援導促進のため日本代表の派遣を希望する旨を述べてゐる。

二 第八回第九回國際労働會議出席

茲に諸種の事情を考慮して、大正十五年一月十日開催の臨時中央委員會は、諸種の事情を考慮して代表に日本海貨組合を、猶太即ち顧問三名の中一名は海貨関係の組合中より、二名の海貨上の労働団体中より選出することとし、之を日本海貨組合の次定は、鈴木會長に一任した。然るに、其後日本海貨組合、海軍労働組合、聯盟等より種々の交渉に接し、再三懇同盟の決定を希望し來つたので、友誼團體の意向を考慮し、日本海貨組合、海軍労働組合、聯盟等に通知した。

- 労働代表 日本海貨組合 櫻野結太郎氏
- 顧問 海軍労働組合 神竹要次郎氏
- 海軍労働組合 川島不二郎氏